

鳥取県新型コロナウイルス感染症対策本部（第84回）

- 日時：令和3年7月8日（木）午後2時から
- 場所：鳥取県庁災害対策本部室（第2庁舎3階）
- 出席：知事、副知事、統轄監
新型コロナウイルス感染症対策本部事務局、令和新時代創造本部、
交流人口拡大本部、危機管理局、総務部、地域づくり推進部、子育て・人財局、
生活環境部
東部地域振興事務所、中部総合事務所、西部総合事務所、日野振興センター
長井鳥取市保健所長
（アドバイザー）鳥取大学医学部 景山教授
- 議題：
 - （1）緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の発令・延長・解除
 - （2）症例報告について
 - （3）その他

緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の発令・延長・解除

■ 緊急事態宣言

- 東京都に緊急事態宣言を発令
- 沖縄県が期間延長

東京(発令)	令和3年7月12日から8月22日まで(42日間)
沖縄(期間延長)	令和3年5月23日から8月22日まで(92日間)

■ まん延防止等重点措置

- 埼玉県・千葉県・神奈川県・大阪府の4府県が期間延長
- 北海道・愛知県・京都府・兵庫県・福岡県の5道府県が解除

大阪(期間延長)	令和3年6月21日から8月22日まで(63日間)
埼玉・千葉・神奈川(期間延長)	令和3年4月20日から8月22日まで(125日間)
北海道・愛知・京都・兵庫・福岡	解除

県外との往来について

デルタ株が各地で広がっています。県外との往来の際は感染予防の徹底をお願いします。

- ◆ 緊急事態宣言地域(東京・沖縄)、感染流行嚴重警戒地域(V)(千葉・神奈川)との往来
⇒ 日程の見直しを改めて検討していただくことも含め、平日・休日を問わず可能な限り往来を控えてください。
- ◆ まん延防止等重点措置地域(埼玉・大阪)、感染流行警戒地域(IV)との往来
⇒ 不要不急の往来については慎重にご判断ください。

※感染警戒地域については、鳥取県ホームページでご確認ください。(毎日更新)

これらの地域に行かれる場合

- マスクはすき間なく正しく着用しましょう。
- 繁華街や人混みをさけ、密閉・密集・密接それぞれを回避しましょう。
- 県外の方との会食は控えましょう。
⇒もし会食される際は、短時間で、深酒をせず、大声を出さず、会話時はマスク着用、
アクリル板が設置され換気が良い感染対策の取れた店を選択
- デルタ株の発生状況など、行先の自治体の出す新型コロナ情報をご確認ください。

これらの地域から本県に来県、帰県された場合

- 帰省される方は、帰省される前の2週間は会食を控えましょう。
- 来県後2週間は会食など感染のおそれが高い行動は控えるとともに、家庭内で感染予防を徹底しましょう。
- 家庭内で感染予防が難しい場合は、宿泊施設の利用も検討しましょう。
- 倦怠感や発熱、味覚・嗅覚など少しでも違和感を自覚された場合には、出歩かず、まず「かかりつけ医」又は「受診相談センター」(TEL0120-567-492)にご相談ください。

緊急事態宣言地域の拡大等に伴う県庁業務の体制

感染しやすい変異株の拡大が懸念される状況が継続していることから、基本的な感染防止対策を引き続き徹底する

■ 職員の県外出張等の取扱

「緊急事態宣言」対象地域	とりやめ(新型コロナ対策関連業務など、極めて緊急性の高い業務を除く)
「まん延防止等重点措置」対象地域 感染流行嚴重警戒地域 (V) 感染流行警戒地域(IV)	制限 (必要性を十分検討すること。出張等の場合は万全の感染防止対策をとること。)

- ・県外からの関係者等の招へいについても、出張の取扱いと同様にとりやめ・制限を行う
- ・関係者との打合せ等については、基本的にオンライン形式で代替する
- ・私的な場面においても、感染防止対策を呼びかけている県の職員の立場を自覚し、不要不急の感染拡大地域への往来、感染拡大地域の方との飲食は控える

■ 県外本部の対応

- ・東京本部は業務を縮小し、一定の職員を県庁へ帰任させるとともに、現地スタッフもリモート中心の体制とする
- ・関西本部・名古屋代表部は、交代制勤務体制を徹底するとともに、会議や打合せは原則リモートで行うなど、万全の感染防止対策を行う

■ 庁舎内における感染防止対策の徹底

鳥取型オフィスシステム等の徹底	・距離を確保するための執務機の配置、アクリル板の設置を引き続き徹底 ・コピー機・電話等の共用物品やドアノブ等の定期消毒、換気を引き続き徹底 (不特定の利用者が見込まれる会議室にCO ₂ モニターを新たに設置)
庁舎内へウイルスを持ち込まない対策の徹底	・職員の検温、健康観察員による健康チェックを徹底 ・来庁者の手指消毒徹底や検温の実施

■ 保健所応援体制の確保

検体搬送、疫学調査への応援等を行うため、総勢50名の応援体制を継続

デルタ株感染警戒情報

- 6月30日、デルタ株疑いの変異株(L452R変異)の感染例を鳥取県内で初めて確認しました⇒7月5日デルタ株確定
- デルタ株は、従来株よりも感染力が高いと言われています
- 全国各地で相次いで感染が拡大しており、嚴重な警戒が必要です

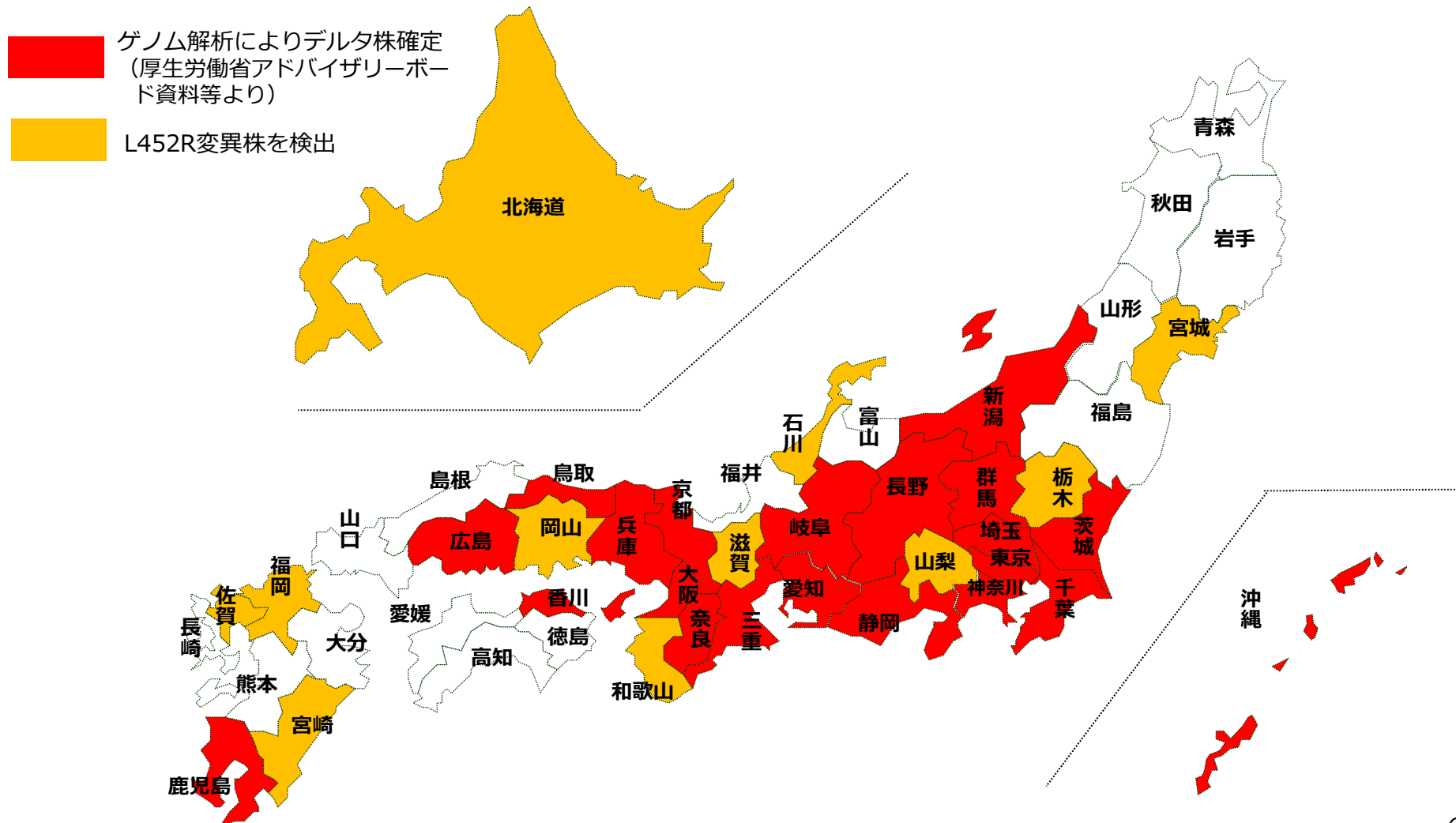
◎県民のみなさまへ

デルタ株であっても基本的な感染予防策は変わりません
ウイルスは対策の隙を狙っています
今まで以上に感染予防策を徹底しましょう

デルタ株の感染拡大状況

○20都府県、304件(前週比+80件)で確認 厚生労働省まとめ、R3.7.7時点

⇒ 首都圏を中心に、中京圏や関西圏でも感染者が増えています



夏休み・お盆を安全に過ごすために

新型コロナウイルスの感染者が増加しています。楽しいお盆・夏休みを安全に過ごすために、感染予防対策の徹底をお願いします。

感染拡大地域との往来は慎重に判断を！

感染拡大地域からの帰省についても、ご家族と相談していただき慎重にご判断ください。

うつさない、うつらない行動を！

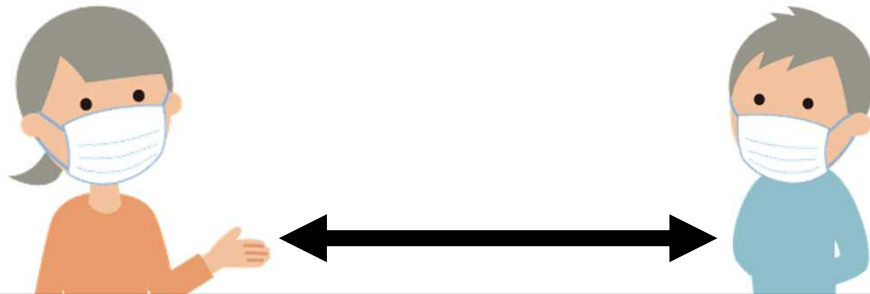
- ・体調に不安があるときは帰省や旅行をやめる
- ・旅行先でも感染予防(「三密」全ての回避、マスク着用、人と人との距離確保等)を徹底
- ・「新しい旅のエチケット」を実践
- ・居住地や目的地の自治体が出す最新情報を確認
- ・同窓会など大人数の集まりについては中止や延期の検討を
- ・認証店などガイドラインを遵守しているお店を利用し、感染リスクを避ける
- ・「とっとり新型コロナ安心登録システム」や「接触確認アプリ(COCoA)」の利用を

お出かけするなら近場で！

夏休みにお出かけする際は、県内や山陰など安心な近場に出かけ、コロナ禍で頑張る地元の観光関連事業者を応援しましょう。

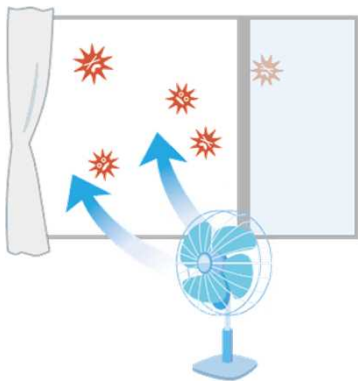
コロナ感染予防のポイント

- 夏場でも**マスク着用に加え、十分な距離をとる、こまめな換気**など感染予防対策の徹底を



⚠️ マスクはすき間なく、しっかりと着用を！

- エアコン等で室内の温度調整を！
なお**エアコン使用中もこまめに換気**をお願いします。



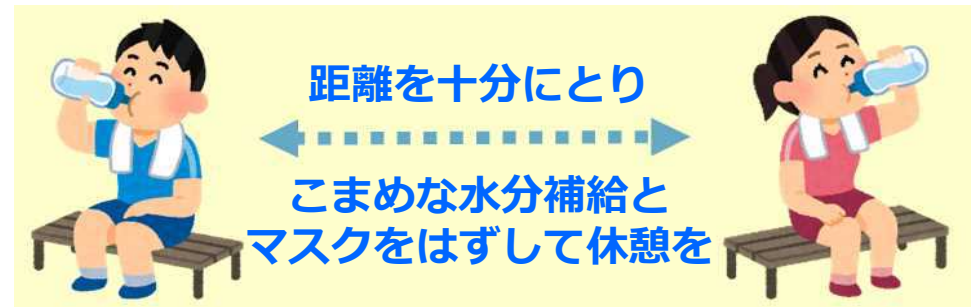
※エアコンを止める必要はありません。
※一般的な家庭用エアコンは、室内の空気を循環させるだけで、換気は行っていません。
※換気の際は、窓とドアなど2カ所を開けましょう。

- 屋外で人と十分な距離（2m以上）を確保できる場合は、マスクをはずす

(例) 田畑での農作業
散歩や自転車
グラウンド・ゴルフなどの
屋外スポーツ
集落などでの奉仕作業



- 負荷のかかる作業や運動をされる場合は、周囲の人との距離を十分にとった上で、**適宜マスクを外して休けい**を



⚠️ 高齢者は渴きを自覚しづらいので要注意！

熱中症にも注意しましょう！

家庭内・職場における感染予防の徹底

家庭内や職場においても、引き続き、感染予防の徹底をお願いします。

家庭内での感染対策

- 冷房を使用している際も定期的な換気
 - タオルや歯磨き粉などの共用を避ける
 - 共有部分(ドアノブ、手すり、スイッチ)の消毒
 - 「親しき仲にもマスクあり！」
 - 大皿を避け、個食を徹底
 - こまめな手洗い など
- ◆やむを得ず感染拡大地域から帰県・帰省されたご家族と過ごすときの感染予防
- ・家庭内での感染予防が難しい場合は、宿泊施設を利用
 - ・2週間は会食などの飛沫が飛んで感染のおそれが高い接触を避ける
- など特に留意しましょう



職場での感染対策

- テレワークやオンライン会議など人と人との接触を減らす働き方の工夫をお願いします。
(テレワーク(在宅勤務)や時差出勤・交代勤務の促進、会議やイベント、採用試験や面接のオンライン実施 など)
- マスク着用、定期的な換気など基本的な感染防止対策の徹底をお願いします。
(従業員の体調管理、マスク着用、定期的な換気、従業員同士の距離の確保、こまめな手洗い・消毒 など)



宿泊施設・観光施設等の緊急点検

夏の観光シーズンを前に、県内の宿泊施設・観光施設等における感染防止対策の緊急点検を7月中に実施

宿泊施設（主な点検内容）

- 入館時の消毒・マスク着用・体調確認
- 館内の消毒の実施状況
- 食事提供施設のフィジカルディスタンス、換気
- 大浴場での混雑緩和措置



写真：三朝館

観光施設・海水浴場・キャンプ場（主な点検内容）

- 混雑時の入場制限
- 手洗い・手指消毒・マスク着用等の注意喚起
- 休憩所や炊事場等での密集回避



写真：わかさ氷ノ山
キャンプ場

地域イベントでの感染防止対策の徹底

地域の納涼祭、盆踊り等のイベントは、地域イベント向けガイドラインを遵守して、感染防止対策を徹底してください。

地域イベントガイドラインの主な感染対策

- 広めの会場で、十分な換気対策
- 屋台・出店等での密集回避や入場制限
- マスクの常時着用呼びかけ(運動時を除く)
- 飲食時の乾杯、回し飲みの制限
- ステージ・舞台等での声援や大声の制限



各種県版ガイドラインは、こちらをご覧ください

<https://www.pref.tottori.lg.jp/291731.htm>



※1,000名以上又は全国的な集客を伴うイベントを開催される場合は、県庁くらしの安心推進課まで届出をお願いします

オリンピック・パラリンピックの応援について

東京オリンピック・パラリンピックは、マナーと節度を守って応援しましょう。

★なるべく自宅で、ご家族など普段一緒にいる人と
テレビ観戦を



★パブリックビューイング、スポーツバー等での応援に際し
ては、主催者・お店はガイドラインを遵守、来場者は感染対
策の徹底を

★特に県外で応援する場合には、感染対策の徹底と節度を
守った応援をするとともに、飲食の際には、よりレベルを
上げた感染対策を

【主な感染対策】

- マスクは必ず着用！ 大声やハイタッチは厳禁
- 換気はこまめに、人と人との距離を確保するなど
3密(密閉、密集、密接)回避の徹底
- 観戦後は路上等で飲食せず、騒がず、直帰する



飲食の注意事項

大人数や飲酒を伴う会食、長時間に及ぶ会食は感染リスクが高まります。感染リスクを
下げる2つのポイントを実践し、感染リスクを下げましょう！

ポイント1 会食前に実践！

○認証店などガイドラインを遵守したお店
を選びましょう

- ※認証店は右のステッカーが目印
です。
- ※県HP「とりネット」で検索できます。



○少人数・短時間で、なるべく普段から
一緒にいる人と行いましょう

- ※感染拡大地域から帰県・来県された方は
2週間は会食等を控えましょう。

○体調が悪い人は、参加
しないようにしましょう



○「とっとり新型コロナ安心登録システム」
や「C O C O A」を利用しましょう

ポイント2 会食中に実践！

○会話時は、必ずマスク着用し、大声は
控えましょう



○冷房中であっても、
こまめな換気を行いましょう

○マナーを守り、お店の呼びかけへの、
ご協力をお願いします

- ・パーティションの移動や
密になるような席の移動
など、勝手な行動はしない



- ・会話時のマスク着用や大声での会話を控える
など、お店からの呼びかけに応じましょう。

○深酒・はしご酒は控えましょう

新型コロナ安心対策認証店の利用促進

◆新型コロナ安心対策認証店は大幅に増加

- 認証店は696件に増加し、施設の感染防止対策が着実に進展
- 認証済みの飲食店の巡回指導を不定期に実施中

◆新型コロナ安心対策認証店の情報提供

- 認証店を紹介する専用ホームページを7月中旬に開設予定

参考:「新型コロナ安心対策認証店」認証制度はこちらをご覧ください

URL:<https://www.pref.tottori.lg.jp/item/1214173.htm>



	認証申請数 (事前相談含)	現地確認数	認証件数
飲食店	2,035件	1,142件	410件
飲食店以外	512件	415件	286件
合計	2,547件	1,557件	696件



お店を利用する際は、感染防止対策をしっかりと実施している「新型コロナ安心対策認証店」を積極的に活用しましょう。

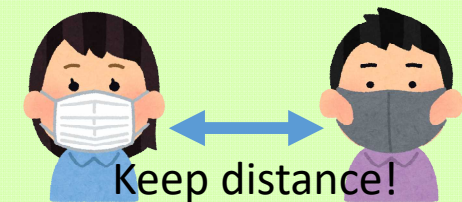
新型コロナウイルスワクチン接種の検討を

あなたと大切な人を守るため、ワクチン接種を検討してください

- ◆ ワクチンは1回のみの接種では十分な効果は保証されていません。
(注)県内でもワクチン1回接種後に、感染した事例が確認されています。
- ◆ ワクチンの接種で十分な免疫ができるのは、2回目の接種からファイザー社製ワクチンでは7日後、モデルナ社製ワクチンでは14日後程度とされています。
- ◆ ファイザー社製ワクチンの場合は1回目の接種から3週間後、モデルナ社製ワクチンの場合は1回目の接種から4週間後を目安に2回目の接種が必要です。

ワクチン接種後も引き続き感染防止対策を忘れずに

- ◆ 県民の多くがワクチン接種を終えるまでは、基本的な感染予防対策(マスク着用、密集、密接及び密閉の回避、手洗いや咳エチケット等)が必要です。
- ◆ ワクチンを接種した後も大人数での飲み会は控えてください。
- ◆ 2回目の接種をした後も、引き続き、感染拡大地域等への往来は、必要性を含めて慎重にご判断ください。



避難における新型コロナウイルス等感染症への対応～県民の皆様へ～

- **今、新型コロナが流行していますが、本県は感染が抑えられている状況です。躊躇なく避難をして、命を守る行動をとってください。**
- **ただし新型コロナウイルス感染者が引き続き発生していることから、避難所で感染症にかからない・うつさないため、次のことに注意してください。**

＜避難する前に・・・＞

- (1) ご自身の体調を確認しましょう。避難する途中で体調がすぐれなくなった場合には、避難所の受付で相談しましょう。
- (2) 安全が確保できる場合は、自宅での待機や、近隣の親せきや知人宅への避難（分散避難）も選択肢の一つです。お住いの地域が危険かどうかハザードマップもしっかり確認して、自分の避難先を決めましょう。
- (3) 可能なかぎり、マスク・体温計・消毒液を持参しましょう。

＜避難した後は・・・＞

- (1) 避難所で生活するときは、必要に応じてマスクの着用、手洗い、咳エチケットなどをしっかり行ってください。
- (2) ほかの避難者と十分な距離をとるようにしましょう。（概ね2 m）
- (3) 十分な換気を行うよう心がけましょう。
- (4) 避難生活をする中で、発熱や咳などの症状がある場合には、すぐに避難所の担当者へ報告してください。

避難における新型コロナウイルス等感染症への対応～市町村への依頼

○誰ひとり逃げ遅れることない安全な避難に併せて、以下の対策の徹底をお願いします。

＜可能な限り多くの避難所を開設＞

通常の自然災害発生時よりも可能な限り多くの避難所の開設を図り、避難者の密度が高まらないよう配慮。また、利用可能なホテルや旅館等の活用等も検討。

＜避難者の健康状態の確認＞

避難者が避難所へ到着した時に体調不良者を早期発見できるよう、検温など可能な限りの健康チェックを行い、健康状態を把握。

＜頻繁な手洗い、咳エチケット等基本的な衛生対策の徹底＞

避難者及び避難所運営スタッフの、基本的な衛生対策の徹底。

＜避難所内での十分な換気の実施、避難者同士の十分な間隔を確保＞

必要に応じて、段ボール間仕切りや段ボールベッドを活用。

※避難所における新型コロナウイルス感染症への対応として実施するマスク、消毒液、段ボールベッドの物資等の備蓄に要する費用は県補助金等の活用が可能。

※ホテル・旅館等の民間施設借上げ、避難所の設置、維持及び管理に要する費用については、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用が可能。

＜在宅避難者の把握に努めること＞

入院患者の家族支援(子ども)

- 保護者等が新型コロナウイルスに感染し、子どもを監護する者がいない場合、児童相談所が窓口となり支援している。
- 今後、デルタ株など第5波による感染拡大が懸念される中、児童福祉施設以外の新たな支援施設を確保。
 - ・支援施設: 2か所 ⇒ 3か所(さらに2か所調整中)

【保護者等が入院した場合】



児童相談所が
窓口となり調整

児童福祉施設等で預かり
県立施設
民間の児童福祉施設
その他の施設など



感染力が高いデルタ株が全国で急増しています。

夏休み・お盆を安全に過ごすために、感染予防の徹底をお願いします。

- 緊急事態宣言地域、まん延防止等重点措置地域など感染拡大地域との帰省を含めた往来については、**慎重にご判断ください。**
⇒ 県外との往来にあたっては、マスクを着用し、会食を控える、密閉・密集・密接を避けるなど徹底した感染予防をお願いします。
- 家庭や職場においてもマスク(正しく着用)、手洗い、換気(エアコン使用中も含め)、消毒など、**感染予防対策のレベルアップ**をお願いします。
- 飲食の際は、認証店などガイドラインを遵守した店で、少人数・短時間・普段一緒にいる人で、**マナーを守って感染拡大を防ぎましょう。**
- ワクチン接種後も、県民の多くがワクチン接種を終えるまでは、マスクを着用し、大人数での飲み会は控えるなど、感染予防対策の徹底をお願いします。

新型コロナウイルス感染症陽性者の概要

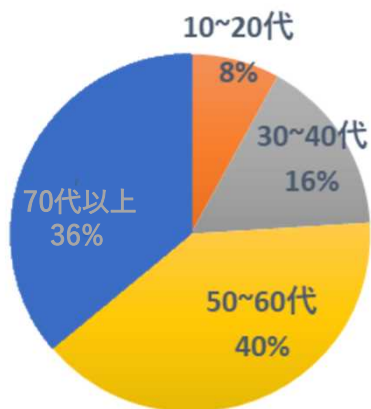
(前回対策本部会議 6/30以降公表事例)

陽性 確認日	陽性 公表日	事 例	管轄 保健所	年代	性別	居住地	職業等	既陽性者との接触等
6月30日	7月1日	県内482例目	倉吉	50代	女性	中部 地区	非公表	
7月1日	7月2日	県内483例目	倉吉	70代	女性	中部 地区	無職	
7月1日	7月2日	県内484例目 (鳥取市保健所管内242例目)	鳥取市	非公表	男性	東部 地区	非公表	
7月1日	7月2日	県内485例目 (鳥取市保健所管内243例目)	鳥取市	50代	女性	鳥取市	会社員	
7月2日	7月3日	県内486例目 (鳥取市保健所管内244例目)	鳥取市	非公表	非公表	非公表	非公表	
7月2日	7月3日	県内487例目 (鳥取市保健所管内245例目)	鳥取市	60代	男性	鳥取市	会社員	
7月2日	7月3日	県内488例目 (鳥取市保健所管内246例目)	鳥取市	非公表	非公表	非公表	非公表	
7月2日	7月3日	県内489例目 (鳥取市保健所管内247例目)	鳥取市	非公表	非公表	非公表	非公表	
7月3日	7月4日	県内490例目 (鳥取市保健所管内248例目)	鳥取市	10代	男性	鳥取市	学生	
7月3日	7月4日	県内491例目 (鳥取市保健所管内249例目)	鳥取市	60代	男性	非公表	非公表	
7月3日	7月4日	県内492例目 (鳥取市保健所管内250例目)	鳥取市	60代	女性	非公表	無職	
7月4日	7月5日	県内493例目 (鳥取市保健所管内251例目)	鳥取市	非公表	非公表	非公表	非公表	
7月4日	7月5日	県内494例目 (鳥取市保健所管内252例目)	鳥取市	非公表	非公表	非公表	園児	
7月6日	7月7日	県内495例目	米子	非公表	非公表	非公表	非公表	

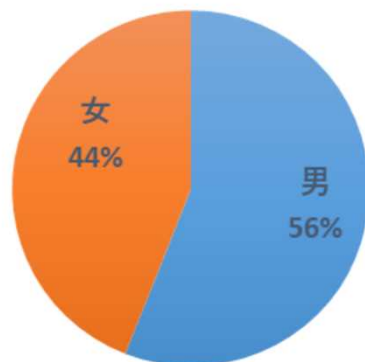
新型コロナウイルス感染症陽性者の発生状況

【期間：令和3年6月28日（月）～7月4日（日）】

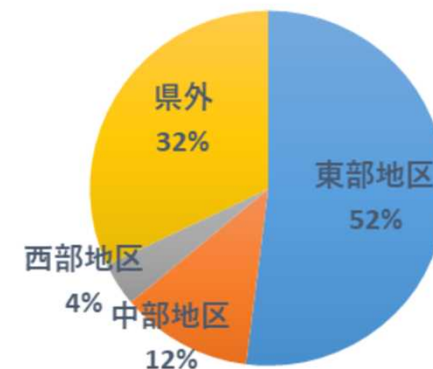
年代別



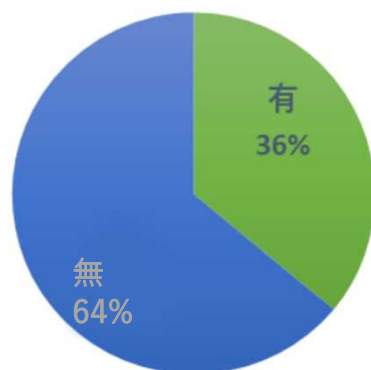
性別



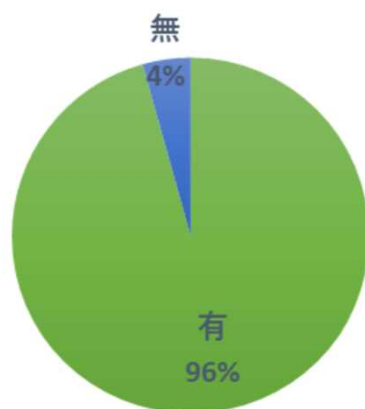
居住地別



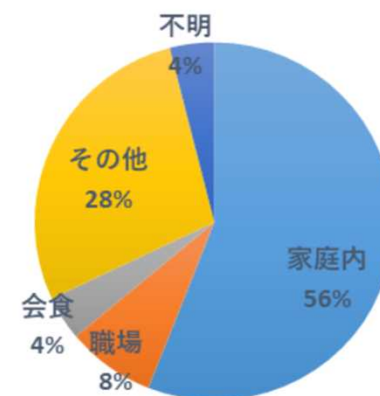
国外・県外移動有無 (発症日(検体採取日)前14日間)



既陽性者との接触の有無



推定感染経路



※とりネットで、月曜日～日曜日の1週間に公表した事例を集計し、原則木曜日に公表します。(本日7/8から)

鳥取県版新型コロナウイルス警報（7月8日現在）

地域	発令区分	備考
東部地区	警報	7/3～
中部地区	注意報	6/30～
西部地区	注意報	6/29～

- ◆ 東部地区で、引き続き感染の連鎖が生じています。
- ◆ マスクを正しく着用、密閉・密集・密接を回避するなど一層の感染予防の徹底をお願いします。

「新型コロナウイルス感染増大警戒情報」

- 感染力が高いウイルスが急速に県内に広がっています。
- 注意レベルを一段とあげましょう。

警戒レベル	東部地区
-------	------

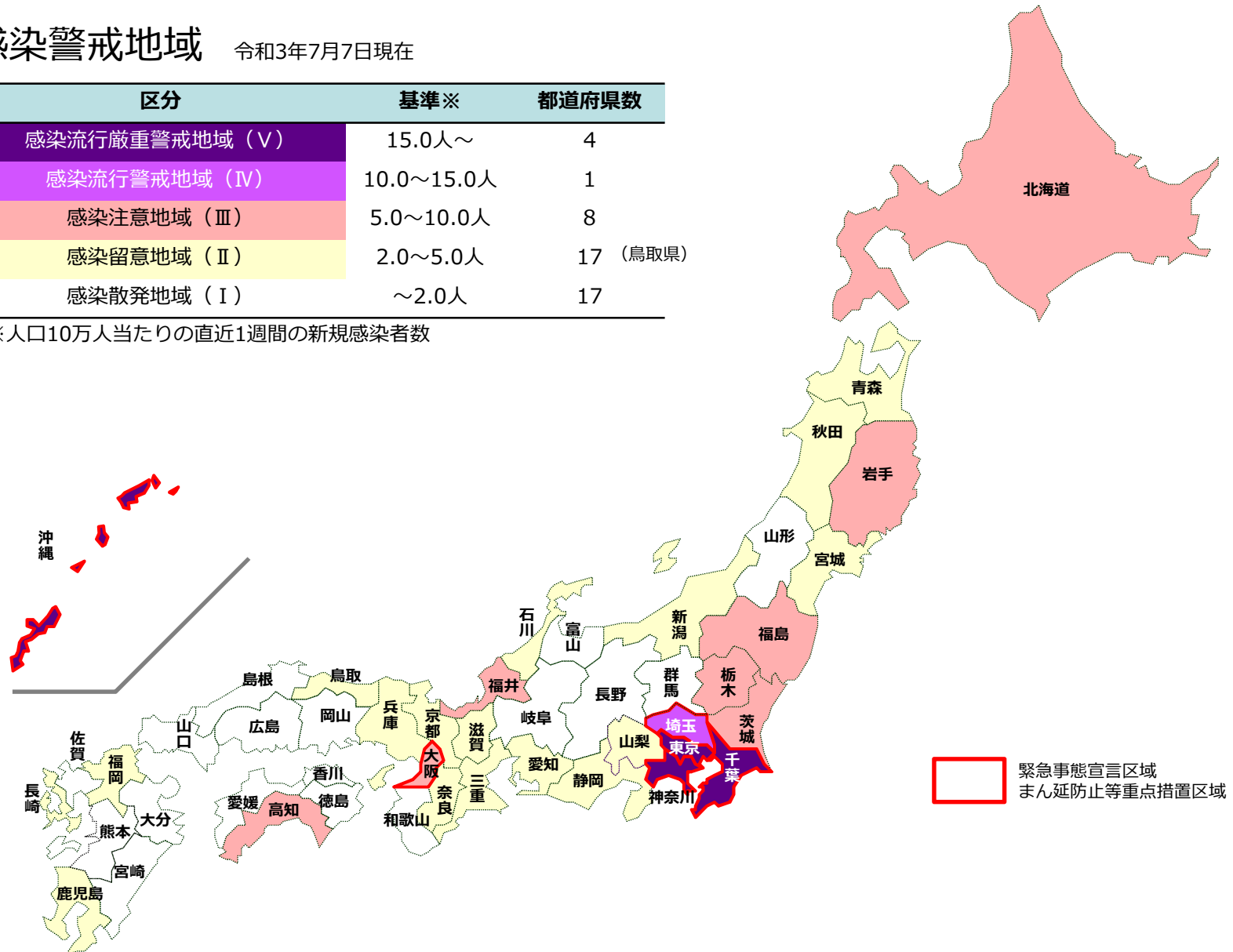
全国の新規陽性者発生状況

感染警戒地域

令和3年7月7日現在

区分	基準※	都道府県数
感染流行嚴重警戒地域（Ⅴ）	15.0人～	4
感染流行警戒地域（Ⅳ）	10.0～15.0人	1
感染注意地域（Ⅲ）	5.0～10.0人	8
感染留意地域（Ⅱ）	2.0～5.0人	17（鳥取県）
感染散発地域（Ⅰ）	～2.0人	17

※人口10万人当たりの直近1週間の新規感染者数



分科会提言の指標と鳥取県の状況

指標				鳥取県 7月8日 12:00現在	ステージⅢ の指標目安	ステージⅣ の指標目安
医療提供体制等の負荷	① 医療の ひっ迫具合	入院医療	確保病床の 使用率	8.6% (28/328床)	20%以上	50%以上
			入院率 (入院者/療養者)	100.0% (28/28人)	40%以下	25%以下
		重症者用 病床	確保病床の 使用率	0.0% (0/47床)	20%以上	50%以上
	② 療養者数(対人口10万人) ※県人口55.6万人で計算			5.0人 (実数28人)	20人以上	30人以上
感染状況	③ PCR陽性率(直近1週間) ※6/30~7/6発表分			0.7% (14/2,132)	5%以上	10%以上
	④ 新規陽性者数(対人口10万人/週) ※6/30~7/6発表分で集計			2.5人 (実数14人)	15人以上	25人以上
	⑤ 感染経路不明割合(直近1週間) ※6/30~7/6発表分で集計			21.4% (3/14人)	50%以上	50%以上

- 現時点ですべての指標がステージⅢの目安に達していない。

人権配慮に係る県民へのメッセージ

感染者や関係先に対する、心ない言動や誹謗中傷、詮索などの行為は、絶対にしないようにしましょう。

感染者自身のほか、関係先や立ち寄り先などに対する誹謗中傷や、不確かな情報を基にした情報の発信・拡散や詮索などの不当な行為は、人権を侵害する行為です。このような行為は絶対に行わず、地域全体で感染者等を温かく包み込むように支えましょう。

県外から来られる方を非難したり、県外ナンバー車を傷つけたりする行為はせず、お互いに尊重し合いましょう。

私たちが闘う相手は「ウイルス」であって、決して「人間」ではありません。お互いの人権が尊重され、誇りをもって生きることのできる差別と偏見のない社会を実現しましょう。

ワクチン接種をしていない方に対する、差別的行為は絶対にしないようにしましょう。

ワクチン接種をしていない方への差別的行為も人権を侵害する行為です。ワクチン接種は本人の意思に基づくものであり、病気など様々な理由でワクチン接種をできない方もいらっしゃいます。接種の強制はしないようにしましょう。

私たちはウイルスと闘っています。皆が思いやりの気持ちを持ち、お互い「ただいま」「おかえり」と笑顔で言い合える人の輪を「地域」「家庭」「職場・学校」に広げていきましょう。

